



本郷台小 だより

1月

横浜市立本郷台小学校
令和5年1月10日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

豊かな学び

校長 原 南実子

新年明けましておめでとうございます。新年の昇降口で子どもたちを迎えてくれたのは、東門にあるヒバを使った手作りのしめ飾りでした。職員室アシスタントの羽鳥さんと春日井さんが作ったものです。かがやきステージで体育館のドアに飾っていたものをお正月バージョンに作り替えてくれました。学年の合言葉が書いてあるカードもお正月飾りにして一緒に飾ってあります。邪気を払うといわれるお正月飾りは、今年も明るく元気に過ごしていこうという気持ちにしてくれます。今年は卯年。卯年はその跳躍する姿から飛躍や向上の年と言われています。新しいことに挑戦したり、これまで積み上げてきた事をさらに向上させたりと、明るく前向きに過ごす一年にしていきたいものです。



さて、昨年、私が台小で一番心に残った言葉は「笑」でした。そう、子ども達が作った運動会のスローガン百戦百笑の「笑」です。単純な「笑」ではなく、子ども達が自分で価値付け、新たな認識を得た「笑」です。運動会で子ども達がつかんだ新たな認識「笑」の始まりは、こうしたい、こうなりたい、こうするぞ、という子ども達の思いでした。一人ひとりのその思いが目標となり、よりよいものを創りあげようとする活動の原動力となりました。しかし、その過程で子ども達は葛藤や試行錯誤する場面にたくさんぶつかりました。考え、悩み、やってみてつかんだプロセスがありました。だからこそ、子ども達は、心の底から湧き出る充実感や達成感を心地よい「笑」として味わうことができたのだと思います。また、ともに頑張る友達を見てきたからこそ湧き起こった相手を尊重する感情も清々しい「笑」として味わうことができたのだと思います。子ども達にとって「笑」は豊かな意味をもったものとなりました。「笑」というこれまでの概念の幅を広げていきました。それが、子ども達がつかんだ新たな認識としての「笑」です。こうしてつかんだ新たな「笑」は日々の学習や学校生活にも波及していきました。自分でつかんだものが自信となり、どの学年も自分達が求める学びを探究したり、よりよいもの、より楽しいものにしたりしていこうという学びに向かう主体的な態度の高まりとなっていきました。かがやきステージで見えていただいた姿にはそれが表れていたと思います。

今、求められている学びは、子どもたちの姿に見られるように、自ら考え、自らの知にしていく学びです。自ら学びに向かう姿勢を伴った学びです。学ぶよさを感じながら自分自身や自分の生活を豊かにしていく学びです。断片的な知識を詰め込んだだけでは得ることはできません。得た知識をもとに新たな認識を見出したり、他の教科や生活の中で活用したり、多様な視点で見つめることで新たな考え方を見出したり、それを表現する事で自分の考えを再確認したり、友達と意見をぶつけ合って考え方の幅を広げたり、新たな考えを生んだり。そうした学び方を大切にする学びが自分を豊かにしていく学びとなります。正解を求める学びではなく、学び方と活用する力をプロセスに置いて得ていく知識や技能、最適解を見つけ出そうとする姿勢が豊かな生き方につながる学びとなります。主語は子ども。子どもが何を学んだか。どのように学んだか。学んだ事をどう活かしているか。子どもを主語にしたこうした学びを創っていけるよう、教職員一同、今年も努力を続けてまいります。

そして、こうした学びを支えるための土台になるのは感性と人、物、事とのかかわりです。昨年もたくさんの方々に出会い、たくさんの方の出来事やものに出会い、感性を豊かに働かせながら豊かなかかわりをもつことができた子ども達です。かかわることで子ども達は学びを豊かにしていくことができました。感性とかかわりを大切に、今年も「豊かな生き方につながる学び」を目指しながら子ども達を育てていきたいと思っております。子ども達が健やかに、明るく、そして豊かに学び続けることができますよう、今年もご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。